



## 1 明北小6年総合『明科のよさをPRするために…』 (6学年だよりから)

### すごろくをやってみたら・・・ ～総合的な学習の時間のその後～

「明科に観光地がない、来る人が少ない」だから、「明科のよさをたくさんの人に知ってもらいたい」という願いをもった子どもたちは、その願いを、それぞれ自分の興味のあることや得意なことをいかして「PR作品」という形に表現しました。そして、修学旅行の際に、そのPR作品をホテルに置かせてもらうことができ、満足した子どもたちでした。さて、この先の総合的な学習の時間をどうしていこうかな、何か楽しいことをしたいな、と考えていたときに、ふと「そういえば、すごろくを作って置いて来たけど、実際に自分たちは遊んでいないなあ」と思いました。そこで、子どもたちに「せっかく友だちがすごろくを作ったから、みんなで遊んでみない？」と提案して、みんなでやってみました。ものすごく楽しんでやっていた子どもたちです。最後に「やってみてどうだった？」と聞いてみると「楽しかったー！」という声。楽しめるすごろくを作ることができたのは、とてもいいことです。でも、なにか忘れています。そこで「ところで、すごろくで遊びながら、明科のことをよく知れた？」と聞いてみました。すると「・・・・？あ、忘れてた」「そういえば、全然気にしなかった」との返答。どうやらゴールすることに夢中で、せっかく途中で明科の写真などが貼ってあったのに、あまり目に入らなかったようです。「このすごろくって、何のために作ったんだっけ？」と投げかけると、「明科のPRのため」「あ、これじゃ全然PRになってないじゃん！」となりました。すると「改善した方がいいんじゃない？」と声上がり、今度はみんなでブラッシュアップすることになりました。

子どもたちは「どうしたら、すごろく遊びを楽しみながらも、明科について知ってもらえるのだろうか？」と考え始めます。「もっと写真を増やしたらいいんじゃない？」「マスを増やしてみるのはどう？」「明科のことをクイズとかにしたら？」「マスの途中でクイズを入れようよ」「でも、『スタートにもどる』とかで何回もそのマスに止まる人がいたら、答えが分かっちゃってて、面白くないじゃん」「じゃあ、クイズは別に作って置いておけばどう？」・・・一気に話が進みました。そして、2～3人ずつのペアやチームで仕事を分担し、作業開始です。

＜ 後略：各チームでの追究 ＞

子どもたちは、一つの目標が達成されると満足感でいっぱいになります。今回の場合は、試行錯誤を繰り返し作成してきたPR作品を、修学旅行でホテルに置かせてもらったことです。担任の投げかけから、本来の願いに立ち戻って、更なる追究を始めた姿に子どもらしさを感じます。

ブラッシュアップした完成形スゴロクを使い、参観日にお家の方々と楽しみました。今後、全校縦割り班で楽しむことも考えています。

## 2 明北小・明南小4年生合同音楽『箏の合同体験学習』 2月

音楽の授業で『箏の合同体験学習』を行いました。子どもたちは、日本の伝統的な音楽を、多くの仲間と共に聴いたり体験したりすることで、それぞれの感性を活かした気づきや技能のよさに触れたりすることができます。また、箏の準備は、箏柱を立てたり、調弦をしたりととても大変で、合同で行うことにより、その負担を減らすこともできます。

今回は、両校の音楽係児童が中心となり、当日に向けて協力して準備を進めてきました。係児童同士が相談し合い、自分たちの力で交流をつくり上げることができました。

### <代表児童による Meet での打合せ> 2月 12日（木） 休み時間



20日（金）に明南小音楽室で行われる『箏の合同体験学習』を前に、明北小・明南小4年生代表児童が、当日についての打合せを Meet で行いました。それぞれの学校で考えているやり

たいこと案を出し合い共有してから、相談して調整をしました。

そして、両校混合グループの作り方など、更に考えなければならないことをはっきりさせ、今後検討していくことになりました。

### <箏の合同体験学習本番（明南小にて）> 2月 20日（金）



両校係児童が司会のもと、グループで自己紹介をしてから『箏』の体験学習を進めていきました。親指にはめた爪で弦をはじいて音を出してみることから始めました。グループ追究では「七・七・八だよ」「弦はこっちから弾くよ」「すごい、上手じゃん」等、友だち同士、声をかけ合う姿も見られました。最後は、交代で一人ずつ『さくら』を演奏しました。周りの子どもたちは弾く弦の数字を、音楽に合わせて歌ってあげました。

### <振り返りでの感想発表から>

- ・難しいことだらけだったけど、「さくら」の最初の部分が演奏できてよかった。
- ・初めて箏をやったけど、楽しくできてよかった。
- ・少しでも箏が弾けるようになってよかった。
- ・一緒に遊んだことはあったけど、今日は一緒に授業ができてよかった。
- ・箏は初めてだったけど、明北の人と楽しく交流演奏ができてよかった。